

くすのき



～ 令和8年 幕開け 志を新たに、一步前へ ～

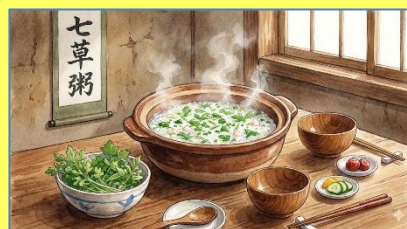
新年、明けましておめでとうございます。清々しい空気とともに、令和8年の新しい年が始まりました。本年は「午（うま）年」。力強く大地を駆け、飛躍する馬のように、子供たちが自らの目標に向かって活気あふれる1年にしたいと考えております。

3学期は、今の学年の「まとめ」であると同時に、次のステップへの「準備」期間でもあります。わずか50日余りの短い期間ですが、一日一日を大切に、子供たちが自分の成長を実感できるよう、教職員一同、全力で支援してまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

【始業式にて】

始業式は、オンラインと対面のハイブリッド。1～4年生は教室でオンライン、5年生は多目的ホール3でオンライン、6年生は多目的ホール2で対面での始業式を行いました。本当に寒い朝でしたので、暖かい教室での始業式は安心感がありました。

以下は、校長から子どもたちに話をした大まかな内容です。



1 令和7年度3学期となりました。年が明けたので令和8年度ではないか？と思う人もいるでしょう。「年度」とは、学校が始まる4月から次の年の3月までをひとまとめにした、1年間の数え方のことで、3学期が終わるまでは令和7年度といいます。

2 セリ・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ。春の七草です。春の七草を、おかゆに入れて、1月7日に食べるとよいと言われています。昔の人は、寒い冬を乗り越えて芽を出したばかりの強い草（七草）には、特別なパワーが宿っていると考えていました。そのパワーを体に取り入れることで、「今年も1年、病気をせずに元気に過ごせますように!」とお願いしたのが始まりといわれています。諸説あります。



3 3学期は『自分で考えてうごく』ことを大切にしてほしいと思います。1年生なら『次はどの教科書を出すのかな?』、高学年なら『学校のために、下級生のために何ができるかな?』と、一歩先を想像してみてください。先生や友達に言われる前に『あ、これだ!』と考えて動けた時、皆さんの心には、自信が生まれます。

4 3学期は51日間です。自分で考えてうごく、そんな締めくくりにしましょう。
※このスライドは見せ忘れ
※6年生は50日間